

【七月の言葉（平成二十九年）】

助けてくださいとお願ひするのではなく、

「助かってほしい」という仏の願ひを聞くのです。

人間は苦しい時辛い時、自分の力ではどうにもならない時、仏や神に「助けてください」とお願ひします。受験の祈願、仕事や手術の成功、人間関係…など、良い結果が出るように必死に願われることでしよう。きつと仏や神も出来るなら願ひをかなえてあげたいと思っておられることでしよう。しかし、仏や神に苦を無くす力はありません。願ひをかなえる力はありません。その事実を知るべきです。生きている限り様々な苦しみが起こります。この苦しみはどこから起こってくるのか。この苦しみをどう乗り越えていけばいいのか。そこに仏の智慧のはたらきがあるのです。

仏さまは、いつでもどこでもどんな時でも休むことなく私たちに「助かってほしい」と呼び続けておられます。苦が無くなるのではなく、苦を超えていく力となつてくださるのです。